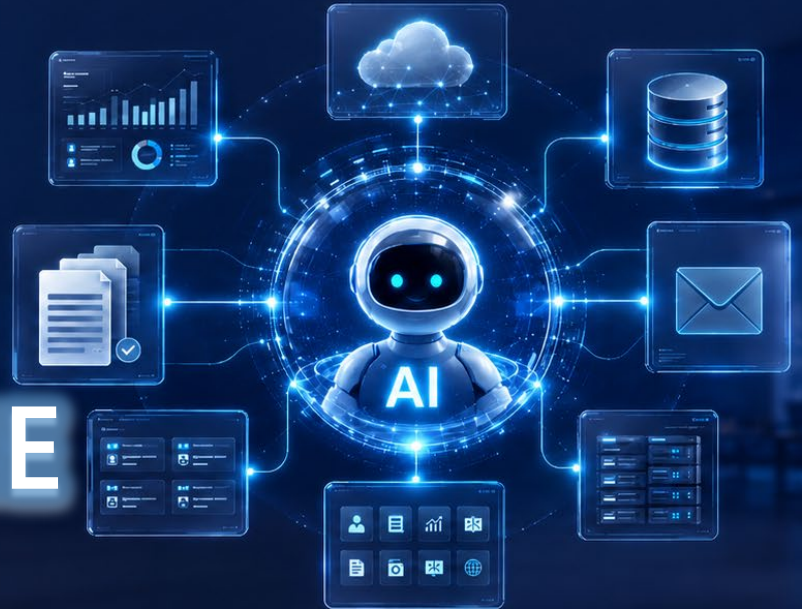


AI活用促進に必要なデータ連携基盤と
Enterprise MCPを提供する

AIとシステムの 統合プラットフォーム Workato ONE



AIエージェントの活用を進めたいけれど...
こんなお悩みありませんか？

社内システムや
データを使えない

システムにつながらない
業務データへ
アクセスできない



回答や処理品質が
不安定

ハルシネーション
判断のばらつき
業務品質への不安



コスト増大

トークン消費量の増加
利用拡大時のコスト増
コストが予測できない



権限制御が難しい

AIへの過剰権限付与
情報漏えいリスク
コンプライアンスリスク



そのお悩み、Workato Oneが解決します！

株式会社 日立ソリューションズ

Workato ONE の Enterprise MCPが課題を解決

AIエージェントから社内システムにアクセスできる

- ✓ iPaaSリーダーとして、1000を超える標準コネクタ
- ✓ SaaS・オンプレ・DB・RPAなど、幅広く接続可能
- ✓ 社内に存在するさまざまなシステムと接続が可能



高い接続性で、さまざまなシステムとAIを統合

正確で信頼できる

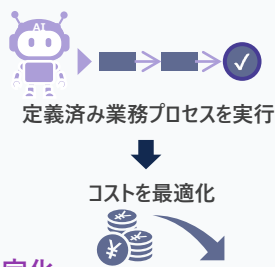
- ✓ 定義済みの業務プロセスをそのまま MCP として公開可能
- ✓ 既存の自動化ロジックや RPA資産も活用可能
- ✓ カスタムフィールドや企業ごとの業務ルールも正確に実行



定義済みロジックの活用でハルシネーションを抑制、信頼性を確保

トークンコストを抑えられる

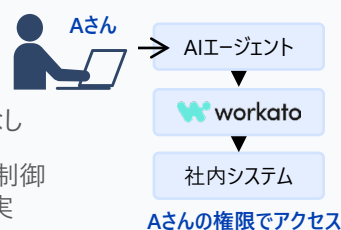
- ✓ AIにすべて任せると、コンテキスト検索、オーケストレーション、エラーリトライなどのコストが発生
- ✓ 定義済み業務プロセス（レシピ）を使うことでコストを抑制



AIの対話を削減し、トークンコストを安定化

実行ユーザーの権限で、安全に業務を行える

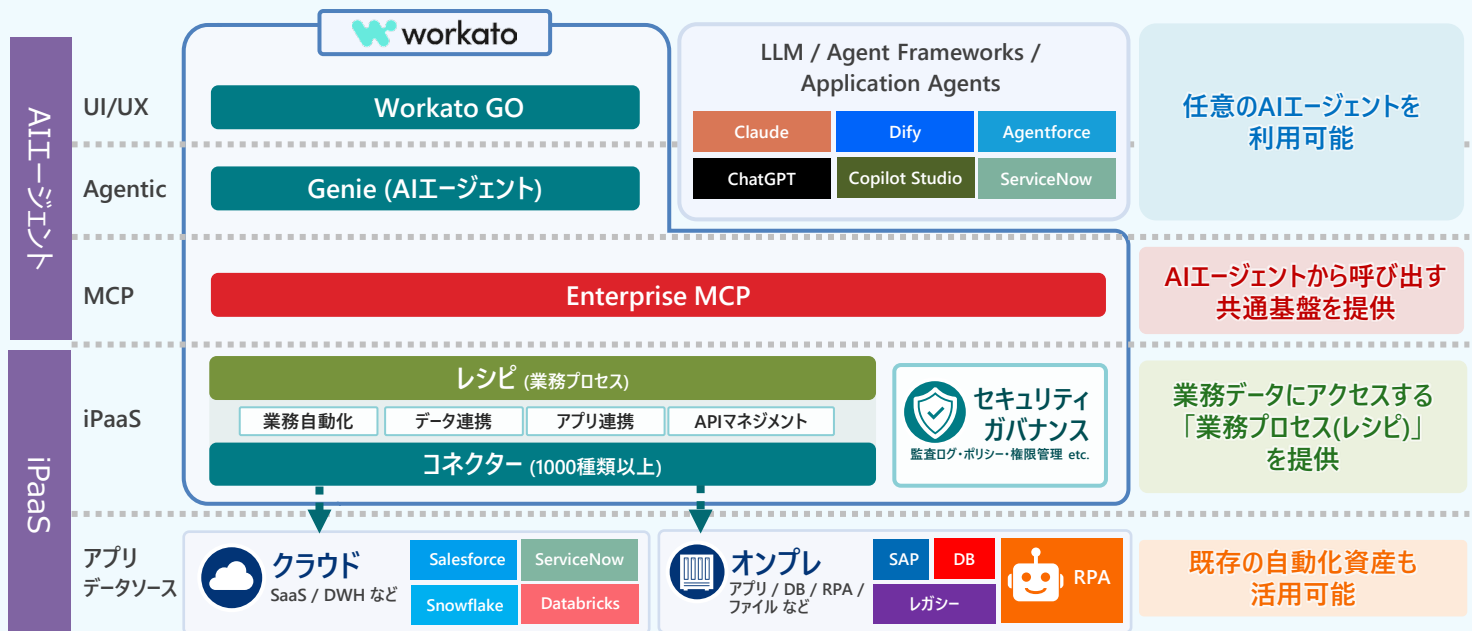
- ✓ 実行ユーザーの権限で業務システムにアクセス
- ✓ AIに過剰権限を与える必要なし
- ✓ 実行ログ、監査ログ、アクセス制御などエンタープライズ機能が充実



ガバナンス・コンプライアンス要件を満たした安全な業務実行

Workato ONE の Enterprise MCP アーキテクチャ

iPaaSの高度なデータ・システム連携や自動化機能に加え、AIエージェント領域も統合するプラットフォーム
AIエージェントと企業内システムをつなぐ基盤として、AIエージェント活用を促進



トライアルサービス実施中！

利用期間30日間のトライアルサービスを提供しています。詳しくはお問い合わせください。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/rpa/products/workato/

